



てしおこもれびの森

自然とのふれあいや健康づくりに
役立つ町民の憩いと学びの場

天塩市街地の東側に広がる36haの森は、自然環境の保全と住民の憩いと学びの場として整備された「てしおこもれびの森」。平成9年(1997年)に町が旧国有保安林を購入し、平成10年度から3年をかけて整備を行ったもので、町単独事業のほか、道の生活環境保全林整備事業を活用して整備され、防風保安林の役割も担っています。

広大な森の中には野球場やテニスコート、パークゴルフ場や多目的広場を備えた運動公園もあり、運動公園を含めると総面積は約50ha。約3kmの遊歩道を歩くと、ヤチダモ、ミズナラ、イタヤカエデ、ハンノキ、シラカバなどの天然広葉樹を中心に、30種類以上の樹木と140種類以上の草花が観察できます。春にはエゾヤマザクラやチシマザクラが花を咲かせ、秋の紅葉も楽しめるほか、ミズバショウやカタクリ、エゾタンポポなど野生の草花が一年を通して可憐な姿を見せてくれます。また、森の中には昆虫や野鳥も数多く生息し、町民を対象としたバードウォッチングや小中学生の森林教室も開かれるほか、シイタケやナメコなどキノコの収穫も楽しめます。

施設はこのほか、管理棟やあずまや、ベンチやトイレ、街灯などが整備され、観賞池の周りでのんびりと森林浴を楽しむ人も少なくありません。開設期間は5月1日から10月末までですが、冬期間は歩くスキーコースも開設され、一部施設が利用できます。平成22年(2010年)10月には森の中に「植樹の森」も整備され、自然とのふれあいや健康づくりが楽しめる施設として、地域住民に親しまれています。

見どころ

一年を通して、さまざまな植物が観察できるこもれびの森で確認されているのは、30種以上の樹木と140種以上の草花。毎年、撮影を行っている人々の協力で、新しい植物が発見されていますので、ごみなどのマナーを守って観察しましょう。

ポイント

こもれびの森の中にある「植樹の森」は天塩町の開基130周年を記念して整備されたもので、広さは約1500㎡あります。

五感で感じる！ 風土資産の魅力



約36haの広さを有するてしおこもれびの森は、豊かな町有林を使用した21世紀の「街の中の緑」といえる快適で潤いのある場です。

総合スポーツレクリエーションの場として、また森林浴、様々な鳥の声や緑のささやきとともに憩える場として、多くの方に利用されています。



こもれびの森は市街地の東側にあり、一週約3kmの散策路を歩くと、道北地方特有の白生木を觀賞することができ、さながら原生林の中にいるような雰囲気を楽しむことができます。また、森の中に生息する昆虫や鳥の生態も観察でき、森林学習の場としても活用できます。

■ 基本情報 (R1.5)

住 所：天塩郡天塩町字川口
利用期間：5月1日～10月31日
問い合わせ：天塩町役場教育委員会
T E L：01632-2-1026